

2019年度第2回契約監視委員会議事要旨

1. 日 時:2020年1月16日(木)10:00~12:10
2. 場 所:JAXA東京事務所 地下階 B101、B102、B103 会議室
3. 出席者:横山委員長、大久保委員、長沢委員、田澤委員、三宅委員、小林委員
4. 審議概要:
 - (1)2019年度第1回契約監視委員会議事要旨の報告
事務局より前回委員会議事要旨について報告があり、了承された。
 - (2)2019年度第1回契約監視委員会アクションアイテムの報告
角田管理課より、前回委員会で点検を受けた「平成 31~32 年度角田宇宙センター管理渉外等業務」において、委員から質問のあった外注化による職員の業務量低減効果についての回答があり、了承された。
 - (3)2019年度調達等合理化計画の第2四半期実施状況の報告
調達部より第2四半期分の随意契約や一者応札・応募の各契約実績と前年度同時期との比較の説明、及び他の取組に関する実施状況の報告があった。
委員からは、市場化テストを活用した取組において、業務分割により競争性を高めることとした案件については、入札結果を踏まえ当委員会としても評価したいとの意見がなされた。
 - (4)2019年度第2四半期に新規に締結した契約の点検
2019年度第2四半期に新規に締結した随意契約及び一者応札・応募となった案件のうち、契約金額が大きいもの、複数の仕様書受領があったものを中心に点検を受けた。その結果、問題となる契約はなかったが「田代試験場 H3 ロケット燃焼試験用ヘリウムガスの調達(そのイ)」において、JAXA 内の他事業所におけるヘリウムガス入札当時の参加状況についての質問があり、次回委員会で回答することとされた。(個別案件ごとの点検内容は別紙のとおり)
 - (5)その他
 - ・調達部より契約審査委員会における審査方法見直しに係る対応方針について説明があり、意見交換が行われた。今後は委員から出された意見も踏まえ、調達部で引き続き検討し、結果を委員会で報告することとされた。
 - ・次回の委員会は、4月17日に開催することとした。

第2回 2020年1月16日

競争性のない随意契約			2件	① スペースチャンバ試験設備 老朽化装置更新・改修(そのイ) ② 深宇宙探査用地上局 インテグレーション試験等実施支援
競争性のある随意契約 (参加者確認公募方式)			1件	③ 田代試験場 H3 ロケット燃焼試験用ヘリウムガスの調達(そのイ)
競争入札	一般競争	価格評価	2件	④ 輸送系業務実施環境の整備 ⑤ 2019年度 無人航空機の運航管理システムの全体設計に係る推進委員会／作業部会支援

主な質疑等は以下のとおり。

① スペースチャンバ試験設備 老朽化装置更新・改修(そのイ)

[競争性のない随意契約]

本件は、宇宙機の熱設計評価、耐環境性確認を行うための熱真空試験設備であるスペースチャンバ試験設備の一部であるIR電源装置が老朽化により故障発生リスクが高まっているため、IR電源装置の更新を行うとともに、計測データ処理装置にIR電源装置の制御機能を統合化する改修を行うものである。

契約相手方は既存の計測データ処理装置を設計・製作した者であり、本業務実施に必要な技術情報を有していることから、「既存の設備又は製品等の維持、保守点検、整備、改修、機能付加、又は改善を行うための契約であり、当該設備又は製品等を製造した者以外では実施できないとき(契約事務実施要領第69条第1項(オ))」を適用し、随意契約としたことの説明が担当者よりあった。

委員からは、他の改修(そのア、ウ)対象設備は、本契約相手方が製造したもののかとの質問があり、担当者よりそれぞれ製造業者は異なるとの説明があった。

② 深宇宙探査用地上局 インテグレーション試験等実施支援

[競争性のない随意契約]

本件は、長野県佐久市に新たに設置された深宇宙探査ミッションを支える地上

局システムの総合試験実施にあたっての各種支援作業を行うものである。

契約相手方は、既存契約である「追跡管制運用業務」において、追跡ネットワークシステム及び地上局の運用を行っており、個々の設備や設備間インターフェースに精通していることや、本支援作業は既存システム運用に影響を及ぼさない対策を講じて行う必要があることから、「現に契約履行中の工事、製造、役務の請負、物件の買い入れ又は借りに直接関連する契約を現に履行中の契約者以外の者に履行させることが不利であるとき又は別箇に実施することができないとき」(契約事務実施要領第 69 条 1 項(ソ))を適用し、随意契約としたことの説明が担当者よりあった。

委員からは、深宇宙探査用プロジェクトに関する今後の支援業務についても、本契約相手方との随意契約となるのかとの質問があり、担当者より随意契約は今回のインテグレーション試験に関する支援のみであり、今後は競争契約に移行することとなる旨の説明があった。

③ 田代試験場 H3 ロケット燃焼試験用ヘリウムガスの調達(そのイ)

[参加者確認公募方式]

本件は、田代試験場で実施する H3 ロケット燃焼試験で使用するヘリウムガスの調達を行うものである。ヘリウムガスは世界的に供給量が不足している状況において、燃焼試験の必要量を計画通りに確保しなければならないが、本供給可能性のある業者が複数あることから参加者確認公募をしたうえで、随意契約としたことの説明が担当者よりあった。

委員からは、ヘリウムガスが不足している現状においては、公募による随意契約としているが、この状況が解決したら契約方式はどうなるのかとの質問があり、担当者より競争入札に復することとなる旨の説明があった。

また、委員から JAXA 内の他事業所におけるヘリウムガス入札当時の参加状況についての質問があり、次回委員会で報告することとされた。

④ 輸送系業務実施環境の整備

[一般競争・価格評価方式]

本件は、宇宙輸送系技術情報を扱うためのシステム環境構築及びサービス提供を行うものである。入札公告期間を45日確保し、複数社の入札説明書受領があったものの結果として一者応札となったものである。一者応札となった要因としては業務履行に必要となる人員確保ができない等の業者側都合によるものであるが、今後はより一層業者側で人員確保が行いやすいように公告等の準備を進めたい旨の説明が担当者よりあった。

委員からは、本契約はシステム環境整備というよりは、その後のサービス提供の

ほうがメインであるため、今後同様の調達においては、メインとなるものをタイトルで前面に出す等、工夫したほうがいいとの意見がなされた。

また、委員からは、一括契約だと確実性はあるが今後の情勢によってはコストが増加したり、要員確保が難しくなる恐れもあるため、システム中枢部分以外のネットワーク、周辺機器については、他事例も参考に契約を分ける等の検討をしていただきたいとの意見がなされた。

⑤ 2019 年度 無人航空機の運航管理システムの全体設計に係る推進委員会／作業部会支援 [一般競争・価格評価方式・2回連続一者応札]

本件は、無人航空機の運航管理システムの検討を進めるにあたって、有識者等から構成される推進委員会／作業部会で議論するための課題抽出や情報収集等の支援作業を行うものである。入札にあたり業務詳細を理解してもらうために入札説明会を開催するなどした結果、複数社の入札説明書受領があったものの結果として一者応札となったものである。一者応札となった要因としては業務履行体制の構築ができない等の業者側都合によるものであったとの説明が担当者よりあった。

委員からは、事前審査項目のうち従事者に求める要件がハードルとなって入札参加できなかった者もあるのではないかととの質問があり、担当者より事前審査項目は必要最小限としたが、本業務は運航管理システムの国際的な標準化に向けたものであり、確実な履行を担保するためには、従事者に求める要件としなければならなかったとの説明があった。

以上